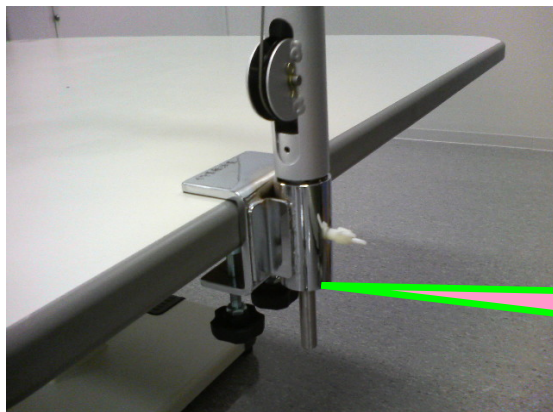
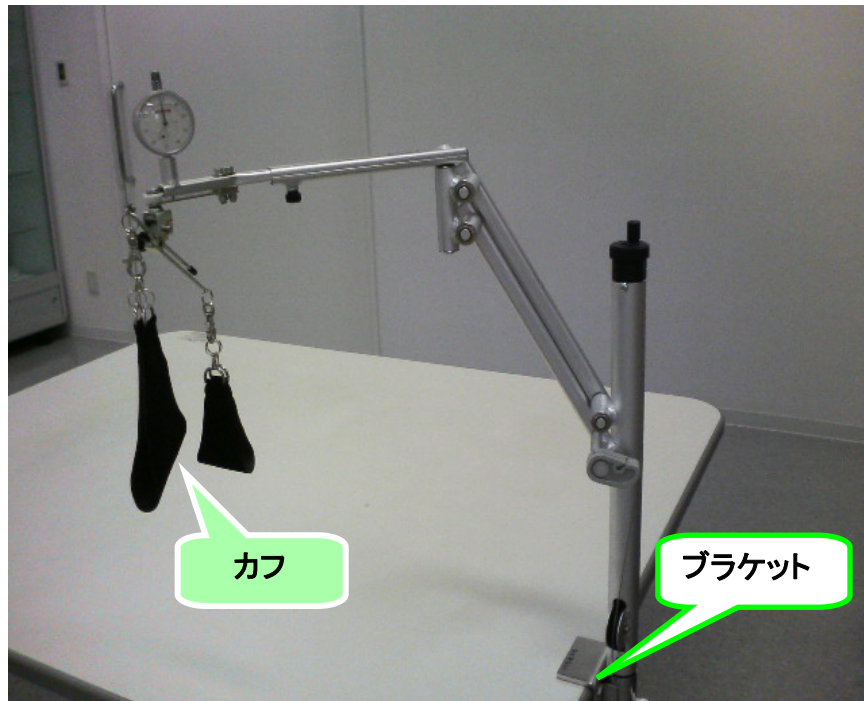


# 作業療法だより(7)

平成19年8月

今回が8回目となる当院で患者様に提供している装具の紹介をさせていただきます。今月は、  
頸髄損傷や脳卒中などで腕の筋力低下により自力で日常生活が困難な方が使用者自身の  
腕の重さをゼロに近くすることで、わずかな力でも腕を動かすことができるようにする為のポー  
タブルスプリングバランサー(以下PSB)を紹介します。



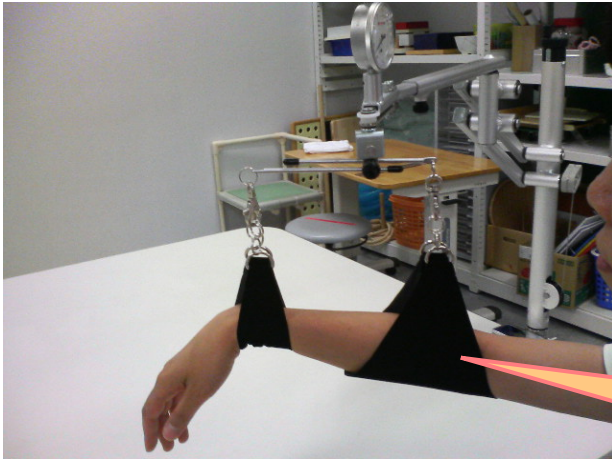
まずは左図のようにブラケットを机(食卓)もしくは車椅子に取り付け器具にてセット(固定)させます。

※腕の重みなどで外れないようにしっかり固定します。

## ◆PSB の4つの特長

- 1) 3次元の動きが容易にできる。
- 2) 取りつけが簡単である。
- 3) 微調整が使用中でも可能である。
- 4) 各種ブラケットで様々な個所(食卓・車椅子など)に取り付け可能。

## 2) 装着および使用方法



このPSBには左腕用と右腕用があります。左図は右腕用ですが、PSB取り付けのカフに腕をはめ込み、ある程度の腕の重みを支えるようにセットします。

カフは患者様が使いやすいように改良も出来ます。

そして食事をされる時は、右図のようにスプーンを持ち、指および維持されている腕の筋力により、食物をとります。

スプーンやフォークが持ちにくい方には、図のようなはめ込みタイプのスプーンもあります。



内臓のスプリングの張力を調整することにより、自由に補助力(腕を支える力)を増減することが出来るので、残存している腕の筋力とで目的とする場所まで、腕をもってきます。

このPSBは食事動作だけでなく、習字やパソコン使用、内職などの手作業を行うなど多様にわたり使用することができます。またこのPSBは高額商品ではありますが、身体障害者手帳をお持ちの方であれば、購入に対して市区町村から交付(市区町村が委託業者に代金を支払う)されます。購入に際して当院では、専門業者さんに依頼し、その患者様に適応した装具(自助具)を提供するようにしております。